

ひなたぼっこ通信

2020年
6月号

ケアハウスから

「ケアハウスひなたぼっこ マスクプロジェクト2020」

新型コロナウイルス蔓延に伴い、世界的に深刻なマスク不足となりました。ケアハウスひなたぼっこでも、世間の動向と同様にマスク不足が日々深刻化してきました。

そんな時、職員からの提案がありました。

『マスクがないのならお裁縫が上手な利用者さんと一緒に作ってみてはどうですか?』と。

なるほど・・・(笑)作った方も使ってくれている方を見るのは嬉しいですし、マスク不足で悩んでいる私たちとしてもとてもありがたいです。

こうしてマスクプロジェクトは始まりました。毎日とはいかないものの、少しずつ、出来る利用者様にできる事をお手伝い頂き、ついには総数45枚もの素敵



な柄のマスクが完成しました。

最近では、不織布のマスクも手に入るようになり、飽和状態だとの話も聞こえてきますが、工場の観点から、布製のマスクは有効だと思えます。ご活用いただけたらと思います。

皆様、ご協力頂きありがとうございます。
(事務所 よ)

「小さな花へ感謝」2階

春までもう少しだったのに突然母が亡くなりました。あまりにも急なお別れでした。

亡くなる2日前に母と雪を見に白馬まで行ききました。雪を見せたいと思ったのです。諏訪の平は晴れていて、大北方面は雪が降っているか心配でした。母は、

「雪なんかみたかねえ。」

と言って怒っていました。途中、胡瓜が欲しいと言うので、道沿いのスーパーに寄って買いました。雨の中、ヨタつきながらもしっさり一歩ずつ歩いている母の姿が、私に安心感を与えてくれました。車に乗って少し時間が経つとトイレに行きたいと言うので白馬のコンビニへ寄りました。母が私に、

「何か食べるか。」

と尋ねるので、お腹も減っていませんでしたが、「焼き鳥を1本買ってきて欲しい。」

と伝えました。雪も強く降ってきて、足が滑らなにか心配でしたが、ゆっくり戻ってきてくれました。焼き鳥も4本入っています。昔から1本と言

うとその倍は買ってくる母でした。私に食べさせようと、自分は遠慮して食べない。昔からそうでした。

帰る途中に話していると、
「雪が見れて良かった。」

と、無理を言って連れて行ったのに、そう言ってくれました。

嬉しかったです。あれが、お別れの言葉だったのかと：今は思います。

葬儀も終わり、遺品を片付けていると、母が育てていた枯れそうになっている花を見つけました。何の花か、わからないけど水を差し日向に置いておきました。数日すると、花は開き元気になりました。母が育てていた花だと思いと愛着がわきました。花を育てる事は初めてだけど、花と一緒に私も成長していければ良いと、小さな花を見て希望が湧きました。

今は花だけ枯れてしまいましたが、また綺麗な花が咲く日を、亡き母は楽しみにしていると思います。そう思いながらも、きつと花が咲くと、母の顔を思い出して、母にし足りなかったことも、同時に思い出すだろうと思います。

母に残したような後悔が残らない様に利用者様に対して、全力でお世話したいと思っています。

私を支えてくださる

全ての方々へ感謝致します。そして母へ「ありがとう。」(H)

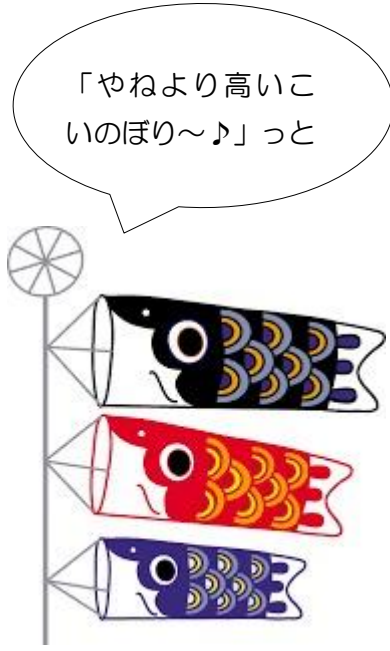


グループホームから

「こいのぼり」2階

「ゴールデンウィークを迎える少し前、利用者様と一緒に、画用紙と新聞紙を使って、こいのぼり作りをしました。」

こいのぼりを作りながら、皆様それぞれ自宅で過ごされていた時の「子どもの日」の過ごし方を思い出されたようで、昔話に花が咲きました。昔のことをワイワイと楽しくお話ししながら懐かしんでおられるのを聞き、私も実家での「子どもの日」のお祭りのことを思い出しました。



「苗を植えました」1階

グループホームでは、野菜の苗を植えました。今年のご利用者様に手伝って頂く事は出来ませんでした。ジャガイモ、ネギ、カボチャ、インゲン、大葉などを植えました。そして、お漬物が食べたいと言われる方が多いので、漬物用のキュウリとナスも植えました。

もう少しすれば、利用者の方も外に出ることが出来ると思うので、その際には、芽摘みなどを教えてもらいながら、一緒に出来たらいいなと思っ

ています。また、水をあげに行ったり、様子を見に出掛けたりなども、していただけたらと思っています。

利用者の皆さんに少しでも関わって頂き、色々な職員へのアドバイスもして頂きながら、楽しみな事が一つでも多く出来ればと思います。

利用者の方には収穫もお願いすると思っていますので、その際にはまたお声をお掛けしようと思っています。

宅幼老所から

「色も匂いも様々に」

新型コロナウイルスのため、お花見にも行けなかった春でした。そして、今の時期、また様々な花が咲き誇っています。利用者様が時々花を持って来てくださいます。

先日椿の大きな枝。そしてつつじの大枝。ジヤーマンアイリスなど……。ちょっと狭い(?) 部屋の中に、いろいろな花が咲き誇っています。スタッフも花を持ってきます。小さなズラン・矢車草・釣鐘草・タイツリ草・バラ・クシマチス……。などなど、本当に様々な花で楽しませてもらっています。



花の色も様々、匂いも様々、山の緑も様々。色の多さにおどろきます。(C)

放課後等デイサービスから

「図書館休館の憂鬱」

放課後等デイサービスの子ども達の多くは図書館が好きです。平日の夕暮れに、夢ひろばで遊んで、帰りに図書館に寄ります。図書館の前で約束をします。「走らない・大声を出さない」などです。子ども達は、それなりに約束を意識して本を選びます。絵本や漫画、図鑑など興味関心に沿って探し、「15分で選んでください」という指示も守ろうとします。その日に来ていない友達に「歴史が好きだから」と選んであげる子どもいます。

図書館のような公共施設は、子ども達にとって格好の「社会適応学習」の場なのです。それが2か月間の休館。「読書タイム」で読む本がないことや、図書館で本を選ぶ楽しみが体験できないことが残念です。活字中毒者の私にとっても、新しい本を読めないという憂鬱が続いています。

6月も無料学習塾と百円食堂はお休みです。

フードバンクだけを行います。希望のある方は左の番号に、気軽に電話をくださるようお願いいたします。

理事長 森 正明

〒3399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 02666-611-2335

FAX 02666-611-2336

